

## 総社の危ないところはどこじゃろーか

【目的】大学生への防災意識向上の取り組みをすることで、将来の総社の「強くてしなやかなまちづくり」の一助とする。

【概要】①大学生への防災意識調査②大学生版自治組織の結成③避難訓練を含めた防災講座の実施④一人暮らし向けの非常持出品等の紹介

### 背景・現状

- ・総社市では、南海トラフ発生時最大震度6強の地震が想定されており、大規模水害時には、岡山県立大学周辺も浸水が想定されている。
- ・県外、市外から大学に進学し、1人暮らしをしている学生は、総社市について詳しくないため、いざという時逃げ遅れる可能性がある。
- ・一人暮らしの学生には、非常持出品を置くスペースもなく、もしもの時の備えが不足している可能性がある。

### 具体的内容

【実施主体】総社市、岡山県立大学

- ・岡山県立大学の学生に、居住地でどんな災害の可能性があるのか、避難所はどこかなどを把握しているかアンケートをとる。
- ・岡山県立大学の学生の有志による岡山県大学生消防応援隊を中心に自主防災組織を結成し、他の自治組織などと連携し避難訓練等の防災活動を行う。
- ・学生に限らず、一人暮らしの方向けの最低限常備しておいてほしい非常持出品等をHP等で公開し、活用してもらう。

### 対象

岡山県立大学の学生並びに総社市内在住の学生及びその家族

### あなたの役割

- ・実際に、自主防災組織に参加する。
- ・大学やアルバイト先等で呼びかけをする。

### 予算規模:約30万円

- ・アンケート費用(用紙・調査)
- ・活動費

### 見込める効果・期限

- ・岡山県大学生消防応援隊に参加していない大学生にも、防災の輪が広がる。
- ・大学生に周知し、防災への意識を高めることで、総社市だけでなく全国どこに行っても、適切に対応がとれるようになる。

### 実行上の課題

- ・効果を測定しにくい。
- ・非常持出品の購入に費用がかかる。